



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年1月30日

上場会社名 石井食品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2894 URL <http://www.ishiifood.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 石井 智康
 問合せ先責任者 (役職名) 業務統括部総括 (氏名) 石井 隆 TEL 047 (774) 8748
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	7,497	△7.5	44	△78.8	43	△76.8	35	△72.8
30年3月期第3四半期	8,105	△2.3	210	—	185	—	129	—

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 △18百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 255百万円 (306.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	2.01	—
30年3月期第3四半期	7.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	9,060	3,861	42.6
30年3月期	9,085	3,932	43.3

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 3,861百万円 30年3月期 3,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,368	△0.2	166	△14.6	160	△5.9	110	△43.4	6.28

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	18,392,000株	30年3月期	18,392,000株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	886,996株	30年3月期	886,971株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	17,505,026株	30年3月期3Q	17,506,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における食品業界を取り巻く状況は、従来の家族構成やライフスタイルの変化、また今年度の暖冬の影響により、季節商品・お正月商品のニーズが著しく変化していることが顕著となりました。特におせち料理に関しましては、全体の需要も落ち込み、内容、原材料、量目において差別化がない商品は淘汰されております。また人員不足により、年末商品の製造・物流においても従来のやり方を変える必要性に迫られておりました。

当社は「第4創業期を作る」をテーマに掲げ、既存ビジネスの収益構造の改善と新しいビジネスモデルの確立の双方に取り組んでおり、地域食材を収穫から製造まで短時間でいう季節商品の強化に取り組みました。特に栗ご飯については京都府京丹波町、茨城県笠間市、埼玉県日高市、千葉県成田市、千葉縣市原市、岐阜県山県市、熊本県山江村のそれぞれの栗の風味を活かした商品を食べ比べという形で提案し、好評をいただきました。正月料理につきましては、重詰めおせちの全食材の国産化・産地の明確化を徹底し、より安全で地域性を出した商品づくりに移行し、数量を絞った上で価値の高い商品を作るための生産体制を構築しました。

一方、食肉加工品等の定番商品においては、冬の食事提案に力を入れましたが、苦戦している状況が続いております。ミートボール群の売上高については概ね前年並みを維持しましたが、ハンバーグ群においては価格競争が厳しく、売上高が減少いたしました。

このような活動を行った結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は74億97百万円（前年同期比6億8百万円減）となりました。販売費及び一般管理費が27億22百万円となり、44百万円の営業利益（前年同期比1億65百万円減）となりました。また、経常利益は43百万円（前年同期比1億42百万円減）となり、これに特別利益、特別損失及び法人税等を計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は35百万円（前年同期比93百万円減）となりました。

製品別業績の概況は、次のとおりであります。

（単位：千円）

製品別売上高	前第3四半期連結累計期間 (29.4.1～29.12.31)		当第3四半期連結累計期間 (30.4.1～30.12.31)		比較増減	
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	金額	趨勢比 %
食肉加工品 (ハンバーグ・ミートボール他)	6,425,973	79.3	6,254,754	83.4	△171,218	97.3
炊き込みご飯の素・まぜご飯の素	120,787	1.5	97,238	1.3	△23,549	80.5
惣菜(サラダ・煮物他)	329,077	4.1	320,724	4.3	△8,353	97.5
非常食	97,752	1.2	108,754	1.4	11,002	111.3
配慮食(アレルギー・減塩)	36,387	0.4	36,592	0.5	205	100.6
地域商品	54,867	0.7	88,519	1.2	33,652	161.3
正月料理	950,798	11.7	531,043	7.1	△419,755	55.9
その他	90,106	1.1	59,647	0.8	△30,458	66.2
合計	8,105,750	100.0	7,497,275	100.0	△608,475	92.5

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は90億60百万円（前連結会計年度末比25百万円減）となりました。主な要因は、現金及び預金の減少74百万円、売掛金の増加3億60百万円、有形固定資産の減少1億94百万円、投資その他の資産の減少1億22百万円であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は51億98百万円（前連結会計年度末比46百万円増）となりました。主な要因は、買掛金の増加1億30百万円、未払法人税等の減少36百万円、その他流動負債の減少57百万円であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は38億61百万円（前連結会計年度末比71百万円減）となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上35百万円、配当金の支払52百万円、その他有価証券評価差額金の減少90百万円、退職給付に係る調整累計額の変動に伴う増加37百万円であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は36億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ74百万円の減少となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により増加した資金は38百万円（前年同期は3億53百万円の増加）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の計上、売上債権の増加、仕入債務の増加、法人税等の支払額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により減少した資金は23百万円（前年同期は49百万円の減少）となりました。主な要因は、投資有価証券の売却による収入、有形固定資産の取得による支出であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により減少した資金は90百万円（前年同期は64百万円の減少）となりました。主な要因は、短期借入金の返済による支出、配当金の支払額であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、平成30年5月15日の「平成30年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,727,196	3,652,389
売掛金	1,413,271	1,773,317
商品及び製品	97,299	74,214
仕掛品	11,085	12,880
原材料及び貯蔵品	145,980	176,887
その他	40,794	46,201
流動資産合計	5,435,626	5,735,891
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,234,165	1,168,584
機械装置及び運搬具（純額）	692,577	588,555
工具、器具及び備品（純額）	31,990	23,441
土地	904,052	904,052
リース資産（純額）	90,378	82,356
建設仮勘定	8,100	—
有形固定資産合計	2,961,265	2,766,990
無形固定資産	32,337	23,611
投資その他の資産		
投資その他の資産	705,146	582,872
貸倒引当金	△48,916	△48,916
投資その他の資産合計	656,230	533,955
固定資産合計	3,649,833	3,324,557
資産合計	9,085,459	9,060,448
負債の部		
流動負債		
買掛金	540,911	671,001
短期借入金	1,330,000	1,310,000
未払費用	750,699	828,492
未払法人税等	53,142	16,495
賞与引当金	76,489	54,247
その他	211,970	154,753
流動負債合計	2,963,213	3,034,990
固定負債		
社債	1,300,000	1,300,000
退職給付に係る負債	643,028	632,500
資産除去債務	23,129	23,147
長期末払金	139,894	139,894
その他	83,513	68,253
固定負債合計	2,189,566	2,163,796
負債合計	5,152,779	5,198,787

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	919,600	919,600
資本剰余金	672,801	672,801
利益剰余金	2,493,803	2,476,486
自己株式	△175,781	△175,786
株主資本合計	3,910,424	3,893,101
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,340	41,517
退職給付に係る調整累計額	△110,084	△72,957
その他の包括利益累計額合計	22,255	△31,439
純資産合計	3,932,679	3,861,661
負債純資産合計	9,085,459	9,060,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	8,105,750	7,497,275
売上原価	5,067,238	4,730,326
売上総利益	3,038,512	2,766,949
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	452,969	451,752
退職給付費用	51,921	47,522
賞与引当金繰入額	33,226	25,404
支払手数料	174,368	184,173
運搬費	857,259	822,540
販売促進費	362,692	342,919
その他	895,871	848,013
販売費及び一般管理費合計	2,828,308	2,722,327
営業利益	210,204	44,621
営業外収益		
受取利息	68	102
受取配当金	4,496	4,475
廃油売却益	11,398	11,068
その他	9,252	9,632
営業外収益合計	25,216	25,277
営業外費用		
支払利息	12,923	12,510
たな卸資産廃棄損	35,849	13,645
その他	774	631
営業外費用合計	49,546	26,787
経常利益	185,874	43,112
特別利益		
投資有価証券売却益	—	37,027
受取保険金	—	6,685
特別利益合計	—	43,713
特別損失		
固定資産処分損	1,696	7,682
災害による損失	—	5,319
投資有価証券評価損	—	3,679
特別損失合計	1,696	16,681
税金等調整前四半期純利益	184,178	70,144
法人税等	54,999	34,947
四半期純利益	129,179	35,197
親会社株主に帰属する四半期純利益	129,179	35,197

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	129,179	35,197
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,100	△90,823
退職給付に係る調整額	51,485	37,127
その他の包括利益合計	126,586	△53,695
四半期包括利益	255,765	△18,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	255,765	△18,498
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	184,178	70,144
減価償却費	255,158	243,914
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,336	△22,241
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33,611	26,599
受取利息及び受取配当金	△4,565	△4,577
支払利息	12,923	12,510
固定資産処分損益(△は益)	1,696	7,682
災害損失	—	5,319
投資有価証券評価損益(△は益)	—	3,679
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△37,027
受取保険金	—	△6,685
売上債権の増減額(△は増加)	△1,092,977	△360,045
たな卸資産の増減額(△は増加)	33,878	△9,617
仕入債務の増減額(△は減少)	622,450	130,090
未払法人税等(外形標準課税)の増減額 (△は減少)	△8,715	△14,408
未払消費税等の増減額(△は減少)	△11,672	△5,948
その他	385,622	58,918
小計	399,251	98,306
利息及び配当金の受取額	10,063	10,047
利息の支払額	△13,088	△12,567
災害損失の支払額	—	△5,319
保険金の受取額	—	6,685
法人税等の還付額	37	37
法人税等の支払額	△42,907	△58,570
営業活動によるキャッシュ・フロー	353,357	38,619
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	—	59,957
投資有価証券の取得による支出	△2,197	△2,160
有形固定資産の取得による支出	△47,600	△75,717
有形固定資産の除却による支出	—	△6,405
その他	624	979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△49,172	△23,346
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	580,000	560,000
短期借入金の返済による支出	△580,000	△580,000
リース債務の返済による支出	△12,111	△17,558
自己株式の取得による支出	△124	△5
配当金の支払額	△52,520	△52,515
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64,756	△90,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	239,429	△74,806
現金及び現金同等物の期首残高	3,093,251	3,727,196
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,332,681	3,652,389

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。